

都心活性化プラン（仮称）について

資料 1-1

1 概要・目的

広島市においては、広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区を都心の東西の核と位置付け、都市機能の集積・強化を図ることにより、相互に刺激し高め合う「楕円形の都心づくり」を進めています。

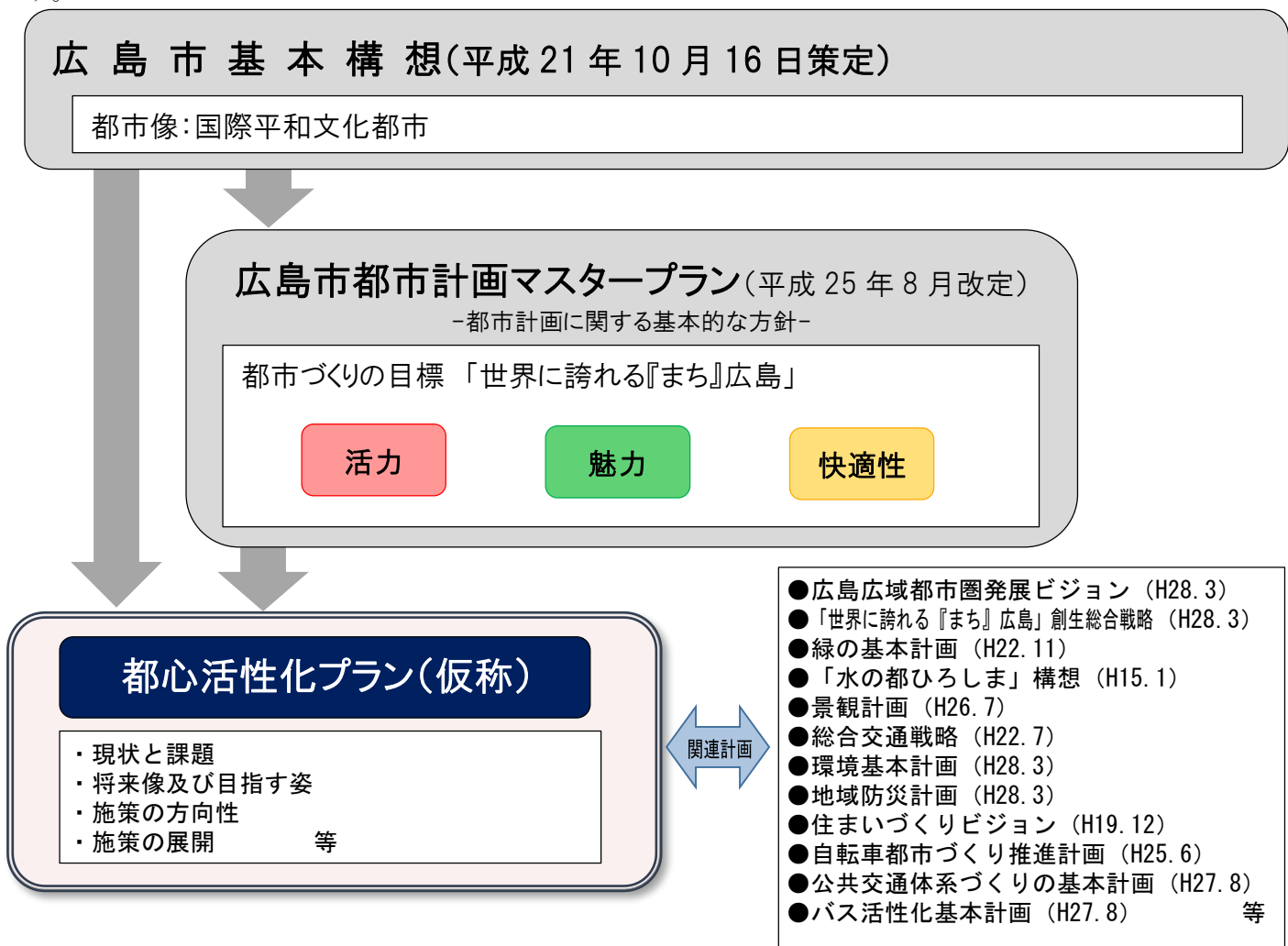
また、人口減少社会を迎え、社会構造が大きく変化していく中で、広域的な地域の活力を維持・強化するためにも、社会経済活動を支える中枢都市の役割は大きくなっており、広島市の都心が市域のみならず、広島広域都市圏、広島県域、中四国地方の発展をけん引することができるよう、広島県と広島市が連携して都心の活性化に取り組んでいます。

こうした取組をより一層推進し、国内外の人々や企業などを惹きつける都心の魅力向上や質の高い都市環境の整備などに取り組み、都心を活性化するため、中長期的な視点で広島市都心部の目指すべき姿や将来像、その具体化に向けた施策等を示す「都心活性化プラン（仮称）」を策定します。

2 プランの位置付け

都心活性化プラン（仮称）は、「広島市基本構想」や「広島市都市計画マスタープラン」を上位計画として策定します。

「広島市基本構想」では「国際平和文化都市」を都市像として掲げ、また、「広島市都市計画マスタープラン」では“活力”、“魅力”、“快適性”という三つの視点で、都市づくりの目標を設定しています。都心活性化プラン（仮称）は、これらの都市像や都市づくりの目標を踏まえた、都心のまちづくりの方向性を示すものです。



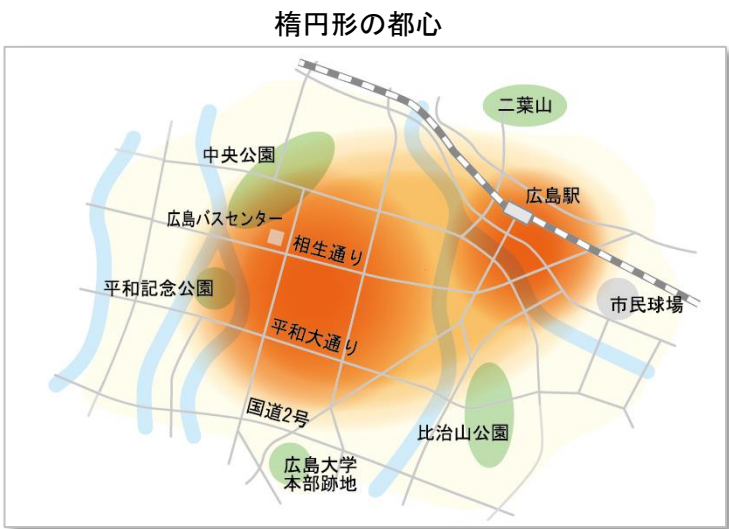
3 目標年次

被爆 100 周年（平成 57 年（2045 年））を見据えて、都心の目指す姿や将来像を描きます。

また、その具体化に向けた施策については、平成 42 年（2030 年）に向けた取組とします。

4 対象範囲

対象範囲は、広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区を東西の核とする「楕円形の都心」とします。



5 懇談会の開催状況と今後の予定について

